

# 研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

多発性骨髄腫における微小残存病変の検討
<b>1. 研究の対象および研究対象期間</b> 2006年1月から2024年3月までに昭和大学病院血液内科で多発性骨髄腫(MM)または意義不明の単クローン性ガンマグロブリン血症(MGUS)と診断された患者さん
<b>2. 研究目的・方法</b> 近年MMにおける治療は飛躍的に進歩しており、現在ではMMにおける治療効果の指標としての微小残存病変がその後治療に影響するといわれております。そこで当院で診断された多発性骨髄腫または意義不明の単クローン性免疫グロブリン血症の骨髄検体を用いて微小残存病変測定法やその影響を研究します。また昭和大学病院で診療を受けた患者さんのデータを利用します。
<b>3. 研究期間</b> 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2028年3月31日まで
<b>4. 研究に用いる試料・情報の種類</b> 昭和大学病院で採取しました骨髄検体や患者さんの診療情報を用います。 患者さんのデータは病院内の診療録管理室にて患者の性、年齢、疾患、病型、治療歴、生存状況、生死最終確認日、血液検査、骨髄検査、遺伝子検査などの情報を取得します。
<b>6. 研究組織</b> 研究責任者 医学部内科学講座血液内科部門 医師・教授 服部 憲路 分担研究者 医学部内科学講座血液内科部門 医師・助教(医科) 岡村 玲子 分担研究者 医学部内科学講座血液内科部門

医師・助教	佐々木 陽平
分担研究者	医学部内科学講座血液内科部門
医師・助教	川口 有紀子
分担研究者	医学部内科学講座血液内科部門
医師・講師	柳沢 孝次

## 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院 血液内科

氏名： 服部 憲路

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号： 0337848338